

## 令和7年度第3回中央区区政会議 会議録

1. 日時 令和8年3月17日(火)午後5時00分～午後7時00分

2. 場所 中央区役所 7階703・704会議室

3. 出席者

(区政会議委員)

麻野委員、浅宮委員、金堀委員、兼岡委員、小森委員、坂野委員、城委員、  
菅委員、鳥居委員、林委員、日ノ下委員、古道委員、部奈委員、眞鍋(明)委員、  
眞鍋(知)委員、水上委員、光武委員

(市会議員)

塩中議員、野上議員

(中央区役所)

松田中央区長、小林中央区副区長、平田総務課長、釜野魅力推進課長、  
三島区政企画担当課長、大西市民協働課長、塩谷保健福祉課長、  
福田子育て支援・保育担当課長

4. 会議次第

1 開会

2 区長あいさつ

3 議題

(1) 地域のつながりづくり

(2) 区政運営

(3) その他

【三島区政企画担当課長】

定刻となりましたので、ただ今より令和7年度第3回中央区区政会議を始めさせていただきます。

私、本日の司会を務めさせていただきます区政企画担当課長の三島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、松田中央区長より開催にあたりまして、ご挨拶をさせていただきます。

【松田中央区長】

皆さんこんにちは。年度末でお忙しい方もいらっしゃると思いますが、お集まりいただきましてありがとうございます。

前回の会議を思い起こしますと、広報紙を眺めながらいろいろなご意見をいただいたと覚えております。非常にたくさんの貴重なご意見を賜ることができました。今日も後程資料に出てきますけれども、年度の切り替わりのタイミングですので、業者の変更や予算の拡充をしまして、5月号から新しい業者と紙面のリニューアルを図りまして、いろいろな連載を企画したりしていくところでございます。今後、楽しみに見ていただけたらありがたいと思います。

今回は来年度予算の話などもあるのですが、意見交換のテーマは「地域のつながりづくり」ということで、担い手不足など非常に頭を悩ませている問題です。地域活動されている方はそのことでも構いませんし、これまであまりされていない方はどうしたら地域に一步踏み込んでもらえるのかといったご意見を出していただきまして、今後取り入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。いずれにしましても、話しやすい雰囲気づくりということと、いただいたご意見を1つでも具体化することを区政会議の目的としていきたいと思っております。今日も話しやすい雰囲気づくりに努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

以上で私からの挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

ありがとうございました。それではここで本日の出席者の皆さまを紹介させていただきます。時間の都合上、お名前をお呼びしますので、その場でご起立願います。Aテーブルより、小森委員、麻野委員、鳥居委員、部奈委員です。Bテーブル、光武委員、林委員、浅宮委員、坂野委員、眞鍋明敬委員です。Cテーブル、眞鍋知秀委員、日ノ下委員、金堀委員、城委員です。Dテーブル、古道委員、兼岡委員、菅委員、水上委員です。

続きまして、助言者として出席いただいております、中央区選出の市会議員の皆さまを紹介させていただきます。塩中議員、野上議員です。

続いて、区役所職員の紹介をさせていただきます。改めまして松田中央区長、小林中央区副区長、平田総務課長です。Aテーブル、大西市民協働課長です。Bテーブル、塩谷保

健福祉課長です。Cテーブル、釜野魅力推進課長です。Dテーブル、福田子育て支援・保育担当課長です。どうぞよろしくお願いいたします。

では、本日の会議資料の確認と会議の流れの説明をさせていただきます。会議資料は、次第、右肩の資料番号1, 資料番号2-1, 2-2, 2-3、また、本日配付資料として本日の配席図の以上6点となります。事前にお送りした資料も含め、不足の資料がございましたら、事務局の者がお持ちいたしますのでお申出願います。

会議の流れにつきましては、先にご案内のとおり、この後、第1部として、議題(1)「地域のつながりづくり」をテーマにした意見交換を約30分間行っていただきます。予定では17時45分頃から、10分間ほど休憩を挟みまして、第2部として、議題(2)「区政運営」について、令和8年度中央区運営方針(案)及び中央区役所歳出予算(案)の概要説明をさせていただきます。

この説明後に、参加委員の皆様全員から、ご意見を述べていただく予定としておりますのでよろしくお願いいたします。順番にマイクをお渡ししますので、本日の議案に関すること、また、これに限らず区政に対するご意見などをお聞かせいただければと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に移ります。これより先の進行につきましては、日ノ下議長にお願いいたします。日ノ下議長、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【日ノ下議長】

それでは、議事に入らせていただきます。まず、本日の区政会議につきましては、委員定数20名のうち、現時点における出席委員は17名でございます。条例第7条に基づく定足数である2分の1以上を満たしておりますので、本会議は有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

前回の区政会議での意見は、区の取り組みにつながり、非常に有意義であったと思います。本日も区政会議で出た意見を区政運営に活かされるよう議事を進行してまいりますので、委員の皆様のご協力をお願いします。

では、議題(1)「地域のつながりづくり」について、区役所から説明をお願いします。

#### 【三島区政企画担当課長】

はじめに資料1について、続いて意見交換の進め方について説明させていただきます。

資料1「令和7年度第2回中央区区政会議における委員意見の反映状況について」をご覧ください。前回会議では、多くの貴重なご意見を頂戴しまして、ありがとうございます。先ほど中央区長の松田より触れさせていただきましたが、特に大きな改善点といたしまして、より興味をもっていただける紙面とするため、令和8年度5月号から「広報ちゅうおう」の企画編集業務を公募型プロポーザル方式で業者選定し、紙面のデザインを刷新

してまいります。また、皆様にもご協力いただきたいのですが、2月号から、最終ページで読者アンケートを開始しました。これにより読者のニーズを把握し、紙面構成の改善に活かしてまいります。アンケートにお答えいただくと、毎号異なるゆめまるくんのスマホ壁紙をプレゼントしておりますので、ぜひこちらもダウンロードしてみてください。その他連載についても掲載していきたいと考えております。詳しくは資料1をご覧くださいければと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。

続いて、本日の意見交換について説明いたします。本日は意見交換のテーマを「地域のつながりづくり」とさせていただきます。近年の地域における住民間のつながりが希薄化していることに関する懸念についてご意見をいただいていることから、令和8年度中央区運営方針における「所属運営の基本的な考え方」にも「地域におけるつながりの希薄化」について言及しているところでございます。今回の区政会議においては、地域住民間のつながりについて委員の皆さまが日頃からどのように感じておられるのかご意見をいただくとともに、つながりや地域活動への参加のきっかけ、参加のハードル、改善策などについても併せてご意見をいただきたいと存じますので、よろしくお願いたします。意見交換を円滑に進めるため、各テーブルの区役所職員が進行役を務めさせていただきます。

まず1巡目として、地域住民のつながりについて、委員の皆さまは日頃からどのように感じておられるのか、順番に発言していただきます。そのあと2巡目として、1巡目での各委員のご発言なども踏まえてつながりや参加のきっかけ、参加のハードルや改善策などについてもご意見をいただきたいと思ひます。

#### 【日ノ下議長】

それでは、私も議長席を降壇し、意見交換に参加します。委員の皆さん、積極的な発言をお願いします。

(各テーブルにて意見交換を行う)

#### 【三島区政企画担当課長】

活発な意見交換ありがとうございます。ご意見尽きないところではあると思ひますが、各テーブルで出た主なご意見を一旦共有させていただくお時間をとらせていただきたいと思います。

それではAテーブルからグループで出た主なご意見を簡単に共有願ひます。

#### 【大西市民協働課長】

Aテーブルの市民協働課長の太西です。よろしくお願ひします。

非常に活発に意見をおっしゃっていただいて、改善策も含めて私もいろいろ勉強させていただきます。

つながりづくりは社会の問題なので非常に難しいということは当然ある中で、何ができるのか考えました。1つは、子どもについて、親御さんや祖父母は心配しますので、子どもが元気であることは皆さんが喜ぶということで、例えば、区役所がバックアップすることも大事ですが、子どもを中心にイベントを開いて人が集まる場を作ることからスタートすることが大事だという意見がありました。その中で子育てをしている方については、悩み事もあつたりするでしょうから、区役所がバックアップしてつながっていくようにしたらどうかという意見もありました。子どもはつながりをつくる接着剤だというインパクトがある意見もあり、地域の会館は現在、高齢の方の利用が中心ですが、子どもの利用も中心になれば、親御さんも来て、世代間の交流も生まれるのではないかという意見もありました。

それと、マンションにお住まいの方はつながることが難しいという状況、つながらなくても困っていないし困らないという状況も当然あるのですが、特に防災関係で助け合うことが必要であり、つながりも必要であるという話がありました。

あと地域性もありますが、外国の方もたくさん増えてきており、挨拶ですらハードルが高いということがあるので、行政で多言語による挨拶の周知をしていただけたら1つのきっかけづくりになるのではないかという意見がありました。

最後に、地域に参加してもらっても手伝うことまでは非常にハードルが高いので、行政としても何か考えてもらう必要があるとご意見をいただいたので、十分考えていく必要があると思いました。

Aテーブルは以上です。

#### 【塩谷保健福祉課長】

Bテーブルでは、Aテーブルと同じような意見も出ましたが、若い方や障がいを持つ親の会をきっかけに参加されている方などいろいろな方がいらっしゃって、地域の皆さまもつながりを求めているわけではないというご意見がありました。

転職なども多い時代になってきて1つの会社で勤め上げることも普通ではない時代になってきている中で、やはり地域やプライベートのつながりを求める若い世代も多いのではないかという話がありました。

先ほどAテーブルの意見でもありましたけれども、防犯・防災のことを考えると、普段全然顔も知らない関係よりも、いざというときに絶対助かるのは顔を知った関係だというお話も出たところです。

こちらのテーブルでは生まれたときから同じところにお住まいだという委員が2人いらっしゃって、そういった方々からは、生まれたときからの関係性は非常につながりのきっかけにはなり、兄弟や他世代と年齢も跨ってつながっている、ただ、それをつなげていくことは非常に難しいという時代になってきているのかというお話も出ています。

P T Aについては、子どもは学校を卒業していき、卒業した後に親御さんが子どもを中

心とした活動から離れてしまいますので、いかに地域の活動につなぎとめるかが大切だというご意見がありました。人と人とのつながりです。求心力があるような人がいらないと難しいだろうし、人間関係が難しくなってしまうと活動が一気に難しくなるということも実際に発生してしまったお話も出たところです。

地域活動を継続していくために子どもを中心とした活動に注目する話はこちらでももちろん出ております。活動に関しましては、南小学校の付近などでは子どもも増えているのですが、子ども会の活動も低調になってきてしまっていて、玉造地域では町会の子ども会はなくなっているというお話もしていただいたところです。

子どもを中心とした活動についても、時代に合わせてアップデートしていく必要があるのではないかという意見もあり、ソフトボールなど昔ながらの活動も良いのだけれども、他区ではバスケットボールであったり、民間の指導者のところに行って活動を続けているところもあるので、そういったものも参考にしたら良いのではないかというお話も出ました。民間の指導者を雇うとなったときに、放課後だと保護者の負担が増えるというような問題も実際に出ていますので、そういった部分の対応も必要なのではないかというお話もございました。

いずれにいたしましても、地域のつながりというのが壊滅的になってきているというお話もありましたので、つながりづくりは難しいところではあるのですが、地域だけではなく、障がい者施設のギャラリーなどを実際に貸し出して、遠方からも人が来ていただけたという事例のご紹介もありました。中央区役所としても地元ももちろん大事ではございますけれども、人と人とのつながりということと言いますと、地域よりも広い視点からの議論も必要なのではないかと私も感じたところです。

以上でございます。

#### 【釜野魅力推進課長】

Cテーブルの魅力推進課長の釜野でございます。先ほどからAテーブル、Bテーブルもいろいろな意見が出てまして、同じような意見もありますけれどもまとめさせていただきます。

問題点としましては、町会の班を離れるとなかなか顔を合わせる機会がなく、分からないことが多いようなつながりになってきているというお話でございますとか、地域活動にお手伝いして下さる人もいて、新しい人も増えてきている反面、町会の中には、お金をもらったらもう活動には参加しなくても良いと言って、受け入れないようなこともあってお互い壁を作っているところもあるというお話がありました。

マンションにお住まいになられる方は、地域とのつながりを持ちたくないから住んでいるというようなこともあり、そのような意識の問題も難しいということや、目的がないと人が集まらないので、イベントなどで目的をつくる必要があるのではないかという意見もありました。

難波の辺りは住んでいる人が少ないということもございますので、老舗同士のつながりはあっても、新しい方とのつながりは少ないというご意見もございました。

解決策としては、小規模なイベントなどをして、地域のつながりを盛り上げていったり、あるいは今まで子ども会から町会の役員をされた方は個別のつながりが大きかったので、もっと地域活動をしていく必要があるのではないかと、私どもが毎月24日にしています清掃を道頓堀だけではなく、他のエリアでもしたりとか、あるいは地域としても清掃などをきっかけにつなかりを広げていくと良いのではないかとのお話がありました。

ただ、そういったことを地域だけに頼ることは難しいので、地域活動協議会の補助金を増やしてもらって、そういった予算付けをしていただかないと、つながり不足は解決しないというご意見もいただきました。

以上でございます。

#### 【福田子育て支援・保育担当課長】

Dテーブルでございます。

活発な意見交換がありまして、まず、つながりについてですが、マンションコミュニティについて、関わりが非常に薄いということで、挨拶程度以上のつながりを感じられないという意見がありました。福祉業界内のつながりは比較的濃いですが、マンション内のつながりは希薄だというご意見もございました。あと、マンションと一戸建ての関係で、いかにつながるようにするかが大事だというご意見もございました。

イベントなどにはたくさんの方が参加されるのだけれども、そこから担い手獲得につながらないと感じておられる方もいらっしゃいました。

きっかけやハードル、対策等につきましてですが、マンションではなくて一戸建ての多い地域でございましたら、例えば植木が置いてあったり、犬の散歩をきっかけに声をかけてつながることがあるというケースがあるのではないかとご意見がありました。それから先ほど申しましたように、花火大会のような文化的な催しやイベントがありましたら人が集まりますし、特に防災や食べ物関係のイベント、体験型のイベントは人が集まりやすいので、そういったイベントが、きっかけになるのではないかとのお話もありました。イベントをしてるときに、どうしたらこのようなイベントができるのか段取りを尋ねられる機会があって、ご説明をしても、何をすることもマンション全体でしなければいけないと考え、躊躇される方もおられるというお話もありました。

中央区は近年、若い子育て世帯がたくさん流入してきております。そういった子育て世帯を、いかにつなげていくかが大事だというご意見がありました。PTAなどに一旦参加して担い手側になってしまうと、辞められなくなってしまうので参加を躊躇してしまうこともあるのではないかとご意見もありました。

地域ごとの社会資源を上手く活用して、子ども食堂や子どもの居場所といった交流の場を作るように、きっかけの切り口はいろいろあるというご意見もありました。

つながりを盛り返した海外の例もご提案いただきました。例えば、地域に行政の予算を一定渡して、地域の方々がいろいろなご意見をされて、選択して、予算を使って、盛り返した例、あるいはバスケットボールで世界を旅するというような方々がおられるようで、そういった方々と地域のチームが試合をして交流するなど、そのような交流の場で盛り返した話を紹介いただきました。

Dグループからは以上でございます。

【日ノ下議長】

ありがとうございます。皆さん、お疲れ様です。17時55分になりましたので、これより、5分間休憩とさせていただきます。18時から第2部を開始しますので、お席にお戻りいただきますようお願いいたします。

(休憩)

【日ノ下議長】

再開いたします。区役所から議題2「区政運営」について説明をお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

資料2-1左側、「令和8年度運営方針案の概要」をご覧ください。令和7年4月に改訂しました「中央区将来ビジョン」に掲げております「世界中の人たちが、繰り返し訪れたい“にぎわい”のまち」、「つながり、支え合う、ずっと暮らし続けたい“ふれあい”のまち」の実現に向けた、令和8年度の運営方針(案)を作成しました。中央区の課題は、「令和8年度所属運営の基本的な考え方」に記載のとおり、「観光客の大幅な増加などに伴う環境課題の顕在化」、「地域におけるつながりの希薄化」、「外国人人口の増加」と認識しております。この度の令和8年度の運営方針(案)は、喫緊の課題となっております。環境課題に力を入れた内容となっております。

経営課題1をご覧ください。予算額1億3,984万円を計上しております。従前からの「にぎわいづくり」と「環境改善」のほか、新たにミナミの環境改善対策に約6,000万円を計上しております。

経営課題2につきましては、昨年度とほぼ同額の9,116万円を計上しております。主には、地域活動協議会への補助金とまちづくりセンターの運営費などに充当しております。

経営課題3につきましては、こちらも昨年度とほぼ同額の3,887万円を計上しております。主には訪問支援員による相談や見守り、不登校対策などに充当しております。

経営課題4につきましては、4,586万円計上しております。従前からの地域福祉コーディネーターによる要援護者世帯の相談と見守りのほか、新たにミナミ周辺の若者に対する支援策を実施してまいります。

最後の経営課題5は、4億2,798万円計上しております。計上額の大半は、区役所庁舎の光熱水費や維持修繕費のほか、区民センターと中央会館の運営費でございますが、新たに「サービス向上に向けた庁舎空間の最適化」に約3,800万円計上しております。

次に資料右側の「令和8年度中央区関連予算案の概要」をご覧ください。区長マネジメントにより予算編成する「区長自由経費」が、令和7年度より1億4,405万円増の7億4,367万円を計上しております。また、区シティマネージャーが決定権をもつ局が中央区内で実施する予算である「区CM自由経費」については、令和7年度より1,261万円増の5億9,467万円計上しております。

合わせて、令和7年度より1億5,666万円増の13億3,834万円計上しております。説明は、以上でございます。

#### 【日ノ下議長】

ありがとうございました。それでは、これより出席委員に順番にマイクをお渡しいたしますので、第1部の議案(1)「地域のつながり」、第2部の議案(2)「区政運営」についてのご意見や感想のほか、日頃から感じているこの場で伝えたいことでも結構なので、お一人2分程度で意見を述べていただきたいと思います。マイクが回った委員は、起立して選出団体または公募委員である旨と氏名を述べてから、ご意見を述べていただきますようお願いいたします。

では、Aテーブルの部奈委員よりお願いします。

#### 【部奈委員】

大阪ガス株式会社の部奈と申します。本日はありがとうございます。

第1部の「地域のつながりづくり」では、実は私も日頃からつながりを意識しております。自分から情報を取りに行くことでつながりをつかもうとしていますけれども、Aテーブルの皆さんと意見交換をしている中で、なかなかつながりを持ちにくいという話もありました。子どもを中心に、つながりの機会をつくれれば良いのではないかという話を聞き、自分ではあまりそのようには考えていなかったのですが、確かに大事なことだと思いました。

しかし、個人個人がつながりを大事にしたいと思い、情報も発信していかないとつながりは増えないのではないかと私自身日頃の生活で思っておりますので、少しでも何かできればと思っております。

#### 【鳥居委員】

鳥居純一と申します。大阪市中央区地域振興会の代表として来ております。

まず「地域のつながりづくり」ということですが、私は十分つながりがあると思います。地域に限定するということが一番気になっています。いろいろなグループ、いろいろ

なエリアで人がつながっていますので、あえてこのように地域でのつながりに限定する必要はないと思います。

それと意見交換の中でマンションの話が出てきたのですが、地域と直接関わりたくない、自分は自分の生活をしたい、自分の生活を日々近くから見られたくないという人もいます。世の中の流れとして、昔から何十年も住んでいるという人は少なく、人の流動性があり、人が入れ替わってる現状、また個人情報の流出という懸念点もあります。なので自分が必要なときに必要なところとつながれば良いので、あえて地域とつながる必要はそこまでないと思います。災害時には、人は必ずつながるわけですから、そこまで心配する必要はないと思います。

第2部の「区政運営」については、異議はありません。

以上です。

#### 【麻野委員】

公募委員の麻野と申します。普段は学校法人城星学園で運営の仕事をしております。

普段学校で子どもたちの姿をよく見ているということもありまして、子どもが集まるところには人が集まると思います。他のテーブルでも同じような意見がたくさん出たと伺いましたけれども、子どもが集まって元気な姿を見せられるようなイベントなどを、区役所などが様々な形でサポートし続けることによって、人の輪が保護者や高齢の方に広がっていくのではないかと考えておりまして、そのようなことを先ほどの話し合いの中で申し上げました。

「区政運営」に関しましては、私たちの今までの話し合いを踏まえて、中央区役所が様々な形で積極的に動いていると強く感じております。新しい経営課題として、「区役所機能の強化」というものが付け加えられております。今日も区役所1階のホールを拝見しておりまして、いろいろな形で活気のある場所に変わりつつあると思えました。

中学3年生のときに公民という科目を勉強します。そこで地方自治などに関しても学ぶ機会があるのですが、例えば、そこで区役所を訪問して、区役所でどのような仕事をしていて、それが地域のためにどのように役立っているのかを、中学3年生が学び、それを家に持って帰って話をして、それをまとめたものを授業でお互い発表していくのはどうでしょうか。そうすれば、保護者も今、区政はどのようになっているのか、区役所はどのような空間になってるのか、新しい動きがあるのかといったことを知る機会が得られるのではないかとと思ひまして、先ほど意見交換で申し上げておりました。

皆様方から様々なご意見を伺うことができ、私も大変良い学びをさせていただいたと思っております。ありがとうございます。

#### 【小森委員】

大阪商工会議所中央支部の小森と申します。普段は中央区役所の魅力推進課と一緒にイ

ベントなどをさせていただいているのですが、第1部の「地域のつながりづくり」は市民協働課が担当になりますので、つながりについて正直そこまで考えておりませんでした。

意見交換の場ではどうしようかと思っていたのですが、逆にこの場でいろいろな意見をお聞きしまして、非常に勉強になりました。特に、地域の会館で子どもが習い事の発表会などをして、そこに高齢の方なども来てもらったら良いのではないかと麻野委員のご意見もあったのですが、その場で皆が楽しめるし、つながりもできるし、情報発信もできるので、一石三鳥ぐらいの良いアイデアだと思いました。

特につながりをお求めているのは子育て世代の方や独居高齢者だと思いますので、そういう方をメインターゲットとして先につながり強化していくと良いのではないかと考えました。

それから第2部「区政運営」に関しましては、ミナミの環境浄化対策の予算が増額をされております。これは大阪商工会議所も一緒に頑張っていきたいと思っております。

以上です。

#### 【光武委員】

大阪市中央区子ども会育成連合協議会の副会長をしております光武と申します。

「地域のつながりづくり」ということで、私もずっと、長年続いてきた地域活動が崩壊するのではないかと危機感を持っております。PTAなどがつながりの大きな1つのきっかけだと思っているのですが、そこに対しても、ネガティブな意見をお持ちの方も多いですし、そもそも必要なのか、なくても大丈夫だろうと思いき、問題意識自体を持つ人も少なくなっているのかと思います。PTAの役員もなり手がなくて、何度も同じ人が繰り返しているの、その意識をどうしたら変えられるのかと思っております。私の個人的な意見としては子どもが一番大事だと思っており、地域の中でどのように子どもたちを健やかに育てていくかは、学校や親だけではなく、地域も大事だと思います。せっかく良い仕組みとしてずっと維持しているの、なり手をどのようにするのが問題だと思います。

地域活動の行事には長年やっている人や高齢の方だけが関わって、若い人がなかなか参加しないということもあります。それを変えていくには、意識を変えたり目的や意義を前向きに考えてもらえる機会があると良いと思っています。

問題に対する答えがない中で、区役所の方と一緒に地道にやるしかないのかと思っております。一旦崩壊すると再度立ち上げが難しくなる薄氷の上で我々は地域活動をしていると、しみじみと感じるところなので、問題意識をまず持ってもらうということを考えていければと思います。

以上です。

#### 【林委員】

公募委員の林隆二と申します。今日皆様のご意見を伺っている中で、地域のつながりへの参加率が下がってきたことは個人の自由を尊重する時代の流れもあるのかと思います。そのような個人の自由を尊重されることで良いこともあれば、影を落とすこともあります。生活が順調で上手く回っているときは良いのですが、生活の中で困りごとが出てきたり、解決が難しい問題が出てきたときに、属性の近い人たちだけで固まっていると、なかなか解決できなかつたり、対処できなかつたりすることはあると思います。個人の自由を尊重しながらも、人々がゆるやかにつながりあって、困ったときには助け合うようなネットワークができていくことが、今の時代に求められた姿なのかと考えるに至りました。私からは以上になります。

#### 【浅宮委員】

大阪市手をつなぐ育成会の浅宮でございます。

私の娘が通っている施設が谷町5丁目にあるのですが、地域のためにということで、そのギャラリーで作品を展示したり、地域の会合に使ったりすることが増えてまいりまして、地域のつながりであると思います。

私がいるのは障がい福祉の狭い世界ではあるのですが、親同士やボランティアが読み聞かせなどをし、それも地域のつながりだと思いました。

以上です。

#### 【坂野委員】

玉造地域で女性会をさせていただいております、坂野と申します。よろしく申し上げます。

Bテーブルでお話させていただいたところ、光武委員や眞鍋委員の話を聞いてPTAのことにに関して、共通したいろいろな問題を抱えていると思いましたが、林委員のように若い30代の方が、ゆるやかなつながりという言葉をおっしゃっていて、私はとても感銘を受けました。

ついつい私たちの活動を一緒にやろう、引きずり込もうという強い思いが出てしまうのですが、若い方は個人の自由を奪われたくないという思いもあると思いますので、そのような気持ちを大切に、ネットワークづくりもしていけたらと思いました。

それ以外に、資料2-1の区CM自由経費に道路や公園の維持と書いているのでお話をさせていただきますけれども、ちょうど今日大阪城公園を散歩していたら、記念樹の森や東外堀といったお花見シーズンになるととても綺麗な桜並木がある辺りに有料のバーベキューの施設が作られるところを見ました。東外堀の桜並木は綺麗で今日もたくさんの方が散歩されていたのですが、そこにバーベキューの施設を作られて、煙が流れてくると桜を見に来た方には抵抗があると思いますので、対策をよろしく申し上げます。

話が脱線しましたが以上です。

#### 【真鍋委員】

こんばんは。民生委員という立場で参加させていただいております、真鍋明敬と申します。

民生委員では、生活保護の方につきましては、経過の資料が送られてくるだけで、ほとんど直接接することはなくて、中央区社会福祉協議会に地域福祉コーディネーターがいるのですが、見守り活動で接することが多いです。まずは独居の方や持病がある方に向けて、見守りをして良いか聞いて、了承を得られるのは半分ぐらいでございます。了承を得られた方の中から対面でお話できるのが6割か7割程度で、その中で、例えば足が悪いのにわざわざ玄関を開けに行かないといけなくて邪魔くさいと思われてそうな顔する方がほとんどですが、中には訪問を待っていましたとおっしゃる方もいます。私はその人のために頑張ろうと思います。それが地域活動なのだと私は思っています。

大きなことはできないけれども、1人でも2人でも喜んでもらえる人がいるのだったら見守り活動は非常に重要なことですし、これをなくされると困ります。そういうことを他の事業においてもしています。時代遅れだと思われるかもしれませんが、1人でも喜んでもらえる人がいるので、区役所としても応援していくべきではないかと私自身思っております。

言いたいことは他にもあるのですが、最後に皆さんは「ゆめまるくん」をご存じでしょうか。私は着ぐるみの中に何回か入ったことがあるのですが、着ぐるみが少し痛んでいきます。エアタイプの着ぐるみもあるのですが、故障してるから直してほしいと以前から言っているのになかなか直してくれません。その点をお願いします。

#### 【松田中央区長】

以前から言われておりましたので、3月末にエアタイプの着ぐるみが出来上がる見込みです。

#### 【真鍋委員】

私は大阪市中央区商店会連合会の真鍋です。

つながりに関しましては、同じ中央区内でも町会・自治会によって様々なご意見や考え方があって改めて感じました。令和8年度の中央区運営方針（案）にも「つながり、支え合う」という文言が入っていますので、今回限りの議題ではないと思います。私も商業の立場ですが、いろいろなつながりを模索しながら中央区がより盛り上がっていくように引き続きお力になればと思います。

令和8年度の中央区運営方針（案）に関しましては、ミナミの環境改善対策に予算をつけていただいていることは我々からしても非常にありがたいと思います。特に難波・道頓堀界隈はすでににぎわっているのではないかとのご意見もありますが、我々からすると

にぎわいをまだまだ何倍にも増やしていきたいという思いを持っています。

ただにぎわいをつくっていくと負の面も出てきます。たばこのポイ捨てによるごみや火災の問題、食べ歩きによるごみが非常に増えて、その処理費に何億円もかかるということも発生しています。まちとしても、中央区役所と一緒に協力しながらにぎわいと同時に環境改善にも取り組まないといけなく、令和8年度は我々もしっかりしないといけないと思った次第です。

#### 【城委員】

大阪市中央区体育厚生協会の城と申します。よろしく申し上げます。

私たちの大きな行事としまして、11月のスポーツカーニバル、そして2月のファミリージョギングがあります。コロナ禍以前は盛大に行っていたのですが、コロナ禍には行事ができなくなり、コロナ禍以降は参加者が次第に減ってきて、運営に苦慮しております。

ただ個人的なことになるのですが、私は小学校でバトミントンをしておりまして、少人数で、全部で30人ぐらいなのですが、その中でのつながりはできていると思います。当初は小学生から大人までだったのですが、最近はアジア出身の高校生や大学生ぐらいの若い子が増えてきて、そして指導していただける方も、若い方が数人増えてきている状況で、その点について私はとてもうれしく感じております。

中央区の区政運営に関して、異議はございません。

以上です。

#### 【金堀委員】

大阪市中央区老人クラブ連合会から推薦をいただきました金堀東茂子です。私の地域では年に1回だけ橋の掃除をしていて、そのときは皆さん割と出てくださいます。頻度をもっと月に1回ぐらいに増やして、掃除したらまちも綺麗になるし、お互いのつながりもできるのではないかと思います。

以上です。

#### 【菅委員】

公募委員の菅太郎です。

出勤途中に、松田区長などが清掃活動を頑張っているのをよく拝見しまして、私が勤務する会社は名張市とか岸和田市、阪南市などにグループ会社があり、市役所の方ともお話しする機会が多いのですが、他の市だとなかなかないことだと思いました。職員の皆さんも頑張っていると思いますが、区長と一緒に清掃しているのを見るたびに、自分も頑張ろうという気持ちになります。

コミュニティーに関しては、岸和田市などはコミュニティーが活発でして、私は中央区住まわせてもらっておりますので、自分なりにできることに参加して、地域に貢献したい

と思っております。

予算については、異議はございません。

以上です。

#### 【水上委員】

大阪公立大学の水上です。

私は茨城県出身でして、大阪に住み始めてまだ10数年になったところです。そんな私が言うべきではない、だから言うべきなのかもしれませんが、学術的には社会の中でつながりをとても強く持っていらっしゃる方々を「中心」、あまり待っていらっしゃらない方を「周辺」という言い方をします。これは19世紀のアメリカ社会で、そのような概念を使い始めたのですが、人の移動がとても多い社会は、つながりをたくさん持っている人とそうではない人たちが生まれやすいです。それが今、大阪市でも起きているのではないかと思います。

第2部の「区政運営」を関連付けて見ると、新規事業のミナミの環境改善と若者支援事業が目立つように思います。今の大阪の若者が単にインターネット上にしかつながりがなく、自分の精神的な居場所を見つけられず、それだけでは満足せずに、物理的な居場所を求めている結果が現れているようにも感じます。そう考えると、普段我々の世代を含め、子ども世代がどうやって社会に溶け込んで、自分の健全な居場所、安心していられる場所をつくることができるのかが大きな課題だと思います。

私は地方財政と財政学の分野が専門なので、つい予算のことを考えてしまうのですが、可能であれば、ミナミの環境整備にかけられるお金を若者支援にかけて、結果的には環境整備にはお金をかけなくても済むような社会を目指していく方が良いのではないかと思います。

私からは以上です。

#### 【古道委員】

中央区社会福祉協議会の古道です。よろしくお願いします。

社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体ということで、つながりづくりは非常に根本となるものでして、日頃からいろいろな事業、例えばこの区政会議を通じて、居場所づくりなどに取り組んでいるところです。

先ほどBテーブルでお話がありましたように、私もゆるやかにつながるといのはとても良いと思っております。今は地域活動にとっても熱心に取り組んでいらっしゃる方がいますが、次の代、またその次の代になると、地域活動は果たしてどのようになっているのだろうかといつも危惧しているところです。

自分の時間を大事にしたいと思う方もたくさん増えてきている中で、つながりづくりに一生懸命取り組み、時間を注ぎたい人もいれば、少しだったら時間を使える人もいると思

いますので、できる範囲で少し関わっていくみたいな多様な関わり方ができるようになれば良いと思います。

30人の人がいらっしやっただとして、あなたの得意なことなんですかと聞いたら、皆さん30通りの得意なことがあるのかと思います。例えば、囲碁将棋、お菓子づくり、DIY、昔の伝承遊びができる方、また得意なことでもなくとも、お話するのが好きな方など何かその方なりの良いところがあると思います。地域にはそういった良いところを持っている方がたくさんいると思っているので、言うは易く行うは難しではあるのですが、何とか少しずつでも紡いでいければ良いと思っています。

健康であることや安心安全であることは皆さん望むところではあるかと思うのですが、それがあって当たり前という感覚の方もたくさんいらっしやるかと思います。それは中央区政でも取組を進めておられるところであるかと思うのですが、取組のおかげであることを区民からもっと見えるようになれば良いと思っています。

以上です。

#### 【兼岡委員】

大阪市生涯学習推進委員中央区連絡会から参りました、兼岡です。よろしくお願ひします。私は今中央区代表として、活動させてもらっています。ちょうど今朝も連絡会をしました。前回の区政会議で生涯学習ルームはご存じか聞いたところ全員は手を挙げなかったことが残念だったのですが、7校ある小学校で活動させてもらっている団体になります。

毎月連絡会をしておりまして、7校中6校が集まることによって、私も担当の玉造小学校や玉造小学校のある地域のことを考えますし、それぞれの小学校がある地域によって、つながり方や活動の仕方は違うのだと感じております。

先ほどでDテーブルの意見交換でもお話したのですが、推進委員というのはボランティアで、皆さんもそうだと思うのですが、ボランティアをなぜするかというと、人とつながりたい、知識を得て自分も向上したいという気持ちと、自分が住んでいる地域を愛している、地域を良くしたいという気持ちがあるからです。

公園が綺麗だったら安心して住める地域となり、住民が乱れると公園が乱れてその地域は廃れていくと話しました。そして誰とつながるかではなくて、自分が住んでいるところで安心安全に暮らすために、地域を愛していかないといけないと再確認いたしました。

予算案についてですが、ゆめまるくんの着ぐるみを直してほしいと眞鍋委員とも話ししておりましたし、着ぐるみによく入っている知人からこれだけの予算があるなら着ぐるみを直してほしいので区長に伝えておいてほしいと言われていましたので、直していただきありがとうございます。とても感謝しております。

なぜゆめまるくんの着ぐるみにこだわるか、話をさせていただくと、生涯学習ルームは、24区全区にあり、月1回、第2水曜日の夜に難波や阿倍野、梅田の生涯学習ルームに集まります。中央区の連絡会だと6校だけなのですが、24区の話聞くことができ、24

区の中で中央区は恵まれてると言われます。なぜかという、区役所のフォローがたくさんあるからです。他の区だと、会議をするにも何をするにも、部屋を確保するのが難しかったり、サポートがなかったりというお話を聞くのですが、そういう意味で中央区はとても恵まれていますので、職員の皆さんありがとうございます。生涯学習ルームが始まったときに各区がマスコットキャラクターを競って作ったのですが、中央区のゆめまるくんは大阪城を頭に乘せているので、大阪を背負っているのと同じだと言われ、人気がありました。10月に24区が集まる場があり、マスコットキャラクターのブースもあるのですが、ゆめまるくんは人気があるので今年も呼べるか毎年言われます。ただ去年は、着ぐるみがボロボロだったので出すことができませんでした。ゆめまるくんが出ると写真を一緒に撮ったりして子どもが喜んでくれます。つながりづくりの話に戻りますが、子どもや若い人たちを巻き込んで地域活動をしようと思いますのでまたゆめまるくんを出そうと思います。よろしく願いいたします。

予算案については異議なしです。

ありがとうございました。

#### 【日ノ下議長】

委員の皆さん、ご意見ありがとうございました。最後に私から少し持論を述べさせていただきます。中央区コミュニティ協会の日ノ下です。玉造で振興町会長をやっております。

私は、ボランティアは楽しまないといけないと言い続けております。兼岡委員のように高尚な志ではないですが、40年近いボランティア人生ではボランティアの後にスポーツをしたりして楽しみました。これを後輩にも伝えて楽しくボランティアをすることをいまだにしています。このやり方が良い悪いではなく、私はこのやり方しか知りません。だから、このやり方を変えるつもりは毛頭ありません。ただ今日の参加された皆さんのご意見を参考にし、また地域に帰ったら若い人の意見も参考にし、もう残り少ないボランティア人生ですが、これでさらに前進できたらありがたいと思っております。どうもありがとうございます。

そして、第2部「区政運営」では、資料を見ますと、ミナミの文字が多いです。たまには旧東区のことであっても良いのではないかと思います。

第1部の「地域のつながりづくり」に関しましては、先ほど申しましたが、今の地域の振興協会やPTAではつながりを作ることはもうできない状態になっております。地域活動協議会をせっかく作ったのだから、これを活かすべきだと思います。このままだと現状維持になってしまいますので、どうやって協議会を活かすかといったら予算を増額してもらう必要があると思います。お金を出してもらえれば、いろいろな活動ができ、いろいろな意見が出て、いろいろなコミュニティーもできます。だから区長には頑張ってください。

以上です。

それでは、議題3の「その他」について、中央区役所から何かありますか。

**【三島区政企画担当課長】**

議題3の「その他」につきまして事務局からは特にございません。

**【日ノ下議長】**

それではここで松田中央区長から、本日の意見についてや区政運営についてお聞かせ願いたいと思います。松田中央区長、よろしく願いいたします。

**【松田中央区長】**

皆さんお疲れ様でした。あっという間に19時前になってしまって、皆さまに意見をたくさん話していただく、またそのような雰囲気づくりをするという今日の目的の1つといった意味では、今日も多くのご意見を出していただきましてありがとうございました。

グループでの意見交換に少し入らせてもらって聞かせていただいている中でも、そして今、皆さんがそれぞれお話しされた中でも、たくさんの気づきがありましたので、ぜひ今後の取り組みに生かしていきたいと思います。

そうは言いましても当然、光武さんがおっしゃっていましたとおり、地域のつながりというのは答えがない非常に難しい課題ですので、答えがない問題に正面から取り組んでいくことはとても大事なことだと思います。なのであえてこのような難しいテーマにさせていただいており、1つの解決策というのはなかなかないと思いますが、頑張っただけで今日いただいたアドバイスを1つでも実現できるように、これからも取り組んでいきたいと思います。

その他ご意見もたくさんいただいております。先ほどもゆめまるくんの着ぐるみの話がありましたが、ぜひ良いものができて有効活用していただければと思っています。

あと水上さんがおっしゃっていたことは、地方財政の観点からもっともだと思えます。この度は、大阪府に入る財源である宿泊税をミナミの環境浄化に使うということで大阪市にいただきましたので、割り当てています。中央区の予算ではこれだけの額を割り当てることはなかなか難しいのですが、観光客の方もたくさんごみを捨てるので、その観点から使える財源になっております。ここについてご説明が足りていませんでしたので、補足説明させていただきます。

金堀さんがおっしゃっていた、地域で掃除するという話は本当にすばらしいご意見だと思います。役所主導であれこれしようとしても、地域に押し付けてしまうことになりません。高津では皆さんがおそろいのジャンパーを着て、清掃されていて素晴らしいと思います。地域でまとまってそのような取り組みをすると、結束が高まっていくと改めて思いましたので、ぜひそういったことも期待したいです。

皆さんそれぞれの意見についていろいろと思うことはあるのですが、本日はありがとうございました。改めて感謝申し上げたいと思います。

【日ノ下議長】

松田中央区長、ありがとうございました。続きましてお忙しい中助言者として出席いただいております、中央区選出議員の皆さまからも一言ずつ頂戴したいと思います。

では塩中議員からお願いいたします。

【塩中議員】

皆さん、本日はありがとうございました。

私は助言者なので何も言えないのですが、いろいろなお意見が出て、私も発言したいと思いつながら聞かせていただいていたと思います。

区政会議には非常に意識の高い方々が来られているので、意見が出るのだと思います。

地域に帰っていただいて、区政会議で話したことや、地域とのつながりについてどう思うかということをお話していただいて、良い意見も悪い意見も出ながらにはなると思いますが、皆がそういった意識を持って巻き込んでいくことが一番大切なことだと思います。答えはないのかもしれないけれども、身近な人に理解していただいて、そのような仲間が中央区でたくさん増えてくれば、事例として紹介できるような地域になると思います。是非とも皆さんには次の機会までに何人かにお話していただいて、巻き込んでいただければと思います。本日はありがとうございました。

【日ノ下議長】

ありがとうございました。

それでは野上議員、よろしく申し上げます。

【野上議員】

本日もお疲れ様でした。今日もとても勉強になりました。

今日の意見交換は「地域のつながりづくり」というテーマだったのですが、私は対面でこうやって人と話せることがとても好きで、重要だと感じます。ただ、皆さんからのご意見にもあったように時代の流れもあり、ゆるやかなつながりという流れはどうしても仕方ないのかと少し寂しさも感じたのですが、必要なときに必要な情報がすぐに手に入ることが重要だとも感じています。そう思うと区役所の広報などで常に情報発信くださっていることも重要ですし、地域の方々が取り組んでくださっているイベントは、何気なくそのとき行かれたり、普段は行かないけどそのときは行くみたいなこともあり、良いことだと思います。地域の行事に行くたびに同じ方が運営してくださっていて、心苦しくも感謝しかありません。

中央区は特殊な区で、ミナミや大阪城、難波宮もあって本当にすばらしいまちだと感じている、私としてはそのようなにぎわいのある場所でも、地域の方々から愛され続けていくことが大事だと思っています。1つだけお知らせさせて欲しいのですが、大阪城のすぐ隣に豊臣の石垣館というものがオープンしたのですが、天守閣の入場料も合わせて入館料が1,200円です。今まで600円だったのですが、豊臣の石垣館ができてから1,200円に上がりました。料金が上がるときに、ただでさえ入る日本の方が少ないのに、さらに地元の方の足が遠のいてしまうのではないかととても気にしていて、そのときから値段を上げるのなら地元の方に何か特典をつけて欲しいと求めていたのですが、ようやく今年のお城の誕生日である11月に何週間か市民特典として無料招待をすることを今考えていただいています。ぜひその機会に、地域の方々にも足を運んでいただければと思いますので、中央区でも広報してもらえると嬉しいです。ぜひよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

#### 【日ノ下議長】

塩中議員、野上議員、ありがとうございました。

委員の皆さん、本日も活発なご意見、議事進行へのご協力ありがとうございました。これもちまして、本日の区政会議を終了いたします。それでは事務局、よろしくお願いいたします。

#### 【三島区政企画担当課長】

日ノ下議長、議事進行をありがとうございました。

それではこれもちまして本日の区政会議を閉会とさせていただきます。

次回の令和8年度第1回中央区区政会議につきましては、令和7年度の区政運営の振り返りを案件として、5月から6月頃に開催する予定となっております。事前に開催のご案内をさせていただきますので、ご多忙とは存じますがご出席賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。